

(表紙)

都道府県名	鳥取県
野菜指定産地名	とっとりけんせいぶ 鳥取県西部
指定野菜の種別	冬にんじん
指定年月日	昭和42年6月19日

生産出荷近代化計画書

計画樹立年月日

令和4年3月1日

野菜指定産地の区域

米子市
境港市

関係農協等名

鳥取西部農業協同組合
全国農業協同組合連合会鳥取県本部

目 次

第1 区域の概況	1
第2 指定野菜の生産及び出荷の近代化に関する基本的構想	1
第3 指定野菜の生産に関する事項	
1. 作付面積及び生産数量	2
2. 収穫面積規模別農家数	3
3. 耕種状況等	4
(1) 主要輪作体系及び耕種時期	4
(2) 栽培技術等の改善	4
(3) 農業用廃プラスチックの処理方針	4
4. 労働生産性の向上と労働力確保	5
(1) 10a当たり総労働時間	5
(2) 年齢別農業従事者数	5
(3) 労働力確保、生産省力化のための具体的手段の現状と課題	5
第4 指定野菜の出荷に関する事項	6
1. 流通先別出荷数量	6
2. 出荷機関別出荷数量	7
3. 出荷規格	7
第5 指定野菜の近代化に関する事業計画	
1. 現状	8
2. 計画	9

第1 区域の概況

1 自然的条件

県の西側に位置し、指定産地の範囲は、米子市、境港市を区域とし、北は日本海、西は島根県に接している。地形は市街地を挟み、西は島根半島に向かって伸びる平坦な弓ヶ浜砂丘地帯と、東は大山山麓に連なる丘陵地帯及び中国山地に源を發する日野川流域に広がる平坦な東南部水田地帯との2つに大別され、にんじんは弓ヶ浜半島を含む海岸地域で栽培されている。

米子市の平均気温は16.1℃、年間降水量は1,862.5mm、年間日照時間は1,813.9時間で、気候は日本海型である(令和2年データ)。春から秋は比較的温暖であるが、冬は日照時間が短く、北西の季節風が吹く。平坦地は冬期積雪があるものの、根雪になることは少ない。

土壌的には、弓ヶ浜半島を含む海岸地帯の砂質土地帯、河川流域平野部の沖積土地帯、大山丘陵の黒ぼく土地帯と大きく3つに区分される。

2 社会的条件

主産地である米子市は、県都鳥取市までJR山陰本線、国道9号線を利用して約1時間30分で結ばれている。また、地域内の交通は、米子市から北の境港市まで車で30分、東の大山町まで約30分で結ばれている。

地域の経済は、京阪神、山陽方面と密接に関わって発展してきており、秋冬ねぎ等の農産物も京阪神中心の出荷となっている。JRで大阪市まで約3時間、岡山市まで約2時間で結ばれており、高速道路の開通により大阪市まで3時間20分で結ばれるようになった。

米子市の産業別就業人口は、平成27年度の国勢調査によると、第一次産業3.4%、第二次産業19.9%、第3次産業72.5%であり、商業を中心とした地方中核都市として、県西部及び島根県東部を商圏としている。また、境港市は日本有数の漁港として、水産加工など関連産業が盛んである。米子市近隣町村では都市部への通勤者が多いが、西伯郡東部は農業が主要産業になっている。

3 農業の動向

農業は県西部の主要産業で、日本海沿岸の水田、砂畑から大山山麓の畑地まで、地域の特徴を生かして多様な農業が展開されている。

農家戸数は減少を続けている。主産地である米子市の販売農家数のうち主業経営体数は10.9%であるが、副業的経営対数が全体の74.9%を占めている(2020年農林業センサス)

第2 指定野菜の生産及び出荷の近代化に関する基本的構想

米子市及び境港市の弓浜地帯と淀江地区の海岸地帯はともに砂畑で、白ねぎ、葉たばこ、洋にんじんの栽培に非常に適している。

冬にんじんは、主として葉たばこの裏作として栽培され、昭和42年国の指定産地の指定を受け、砂畑の主要作物としての地位を確立した。

今後は、機械化により時間、労力の軽減を図り、栽培面積の拡大を促進し、産地の維持発展を図る。

第3 指定野菜の生産に関する事項

当地域の冬にんじんは、主としては葉たばこの裏作として栽培され、昭和42年指定野菜として指定された。当地域の令和元年度の冬にんじん生産量は、1,326トンとなっており、市場においても高い評価を得ている。また、農業組合が中心となり関係機関との連携を図りながら、栽培技術の向上及び早生品種である「愛紅」の導入などに取り組み、単位面積あたりの収穫量の増加や高位安定生産の維持に努めている。

1. 作付面積及び生産数量

(単位:ha、トン、kg、%)

市町村名	項目		作付面積	生産数量	10a当たり生産数量
	年次				
米子市	5年前(平成26年)		49	1,690	3,449
	現在(令和元年)				
	A		38	1,280	3,368
	目標(令和6年)				
	B		32	1,100	3,438
	対比B/A		84	86	102
境港市	5年前(平成26年)		2	53	2,650
	現在(令和元年)				
	A		2	46	2,300
	目標(令和6年)				
	B		0	0	
	対比B/A		0	0	0
計	5年前(平成26年)		51	1,743	3,418
	現在(令和元年)				
	A		40	1,326	3,315
	目標(令和6年)				
	B		32	1,100	3,438
	対比B/A		80	83	104

2. 収穫面積規模別農家数

(単位:戸、%)

市町村名	項目 年次	収穫 農家数	収穫面積規模別												
			5a 未満	5a~ 10a	10a~ 20a	20a~ 30a	30a~ 50a	50a~ 1ha	1ha~ 1.5ha	1.5ha 2ha	2ha~ 5ha	5ha~ 6ha	6ha~ 8ha	8ha~ 10ha	10ha 以上
米子市	現在(令和元年) A	37	0	1	4	4	3	9	5	6	5	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	35	0	0	4	4	3	9	5	6	4	0	0	0	0
	対比B/A	95	-	0	100	100	100	100	100	100	80	-	-	-	-
境港市	現在(令和元年) A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対比B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	現在(令和元年) A	37	0	1	4	4	3	9	5	6	5	0	0	0	0
	目標(令和6年) B	35	0	0	4	4	3	9	5	6	4	0	0	0	0
	対比B/A	95	-	0	100	100	100	100	100	100	80	-	-	-	-
	比率														
	現在	100	0	2.7	10.8	10.8	8.1	24.3	13.5	16.2	13.5	0	0	0	0
	目標	100	0	0.0	11.4	11.4	8.6	25.7	14.3	17.1	11.4	0	0	0	0

3. 耕種状況等

(1) 主要輪作体系及び耕種時期

年次	タイプ	耕種時期																								比率	指定野菜の主要品種名
		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	～			
現在 (令和元年)	露地	葉たばこ △・△……□…×……□ (冬にんじん) ×………□												葉たばこ △・△……□…×……□ (冬にんじん) ○……○……□…×……×………□ (冬にんじん) ○……○……□…×												100%	愛紅 彩誉
目標 (令和6年)	露地	葉たばこ △・△……□…×……□ (冬にんじん) ×………□												葉たばこ △・△……□…×……□ (冬にんじん) ○……○……□…×……×………□ (冬にんじん) ○……○……□…×												100%	愛紅 彩誉

(注) 耕種時期は記入例により記入する。ただし、○…○(は種期)、△…△(定植期)、□…□(収穫期)、×…×(収穫最盛期)とし、指定野菜名は括弧書きとする。

(2) 栽培技術等の改善

当地域の人参栽培は葉タバコとの輪作体系で確立されているが、11月出荷の出荷率を高めるため、平成30年から早生品種である「愛紅」を導入し、早期出荷の確保を図ってきた。品質・収量とも安定した品種であるので、今後は秀品率が更に上がるよう技術の向上に努めたい。

(3) 農業用廃プラスチックの処理方針

ア 現状と課題

被覆資材として使用した塩化ビニールフィルム、ポリエチレンフィルム、プラスチックフィルム等は、次年度マルチとして再利用するものと、個人で処分するもの、業者により処理するものと大別される。

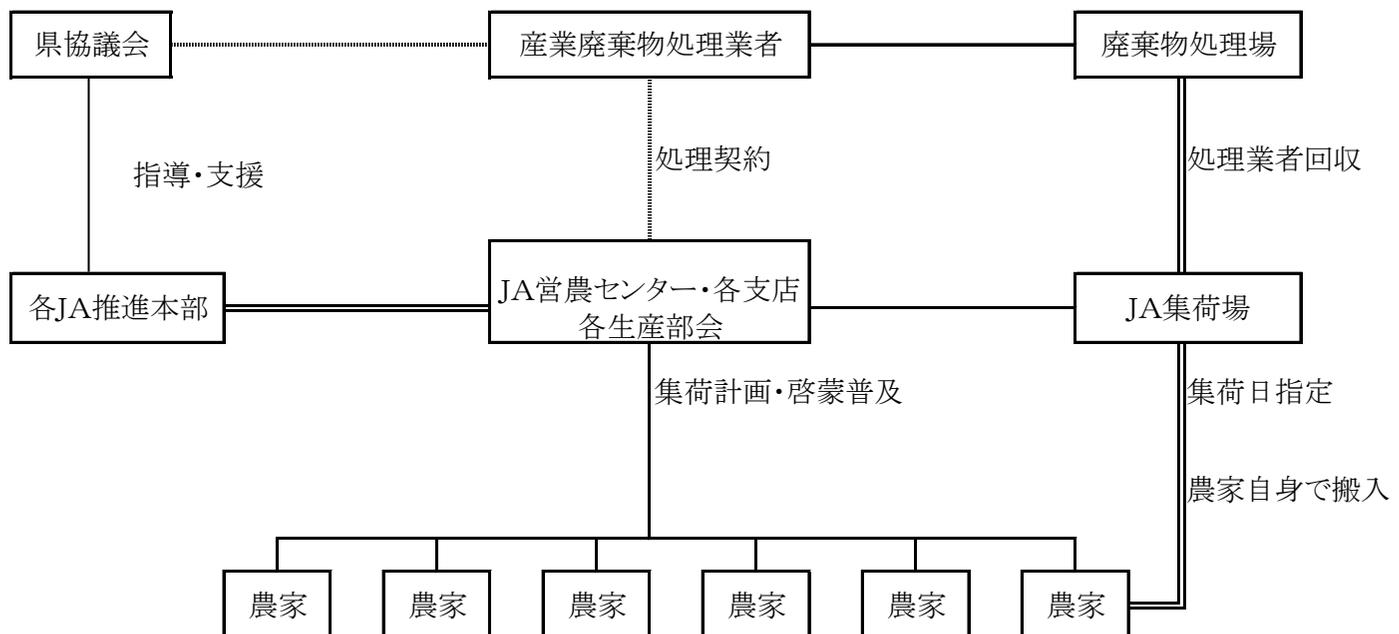
現在、各農業組合に農業用廃プラスチック適正処理推進本部を設置し、全量処理業者による適正処理を推進している。

イ 今後の方針

廃プラスチックは、産業廃棄物として農業者が責任を持って処理すべきものとして位置付けられており、行政機関、農業団体、製造、流通業者が一体となって回収体制を確立し、適正処理を進める。

今後、各農業組合推進本部を中心とした組織的取組とともに生産部会を通じて農業者への啓発を図り、適正処理を実施していくものとする。

【農業用廃プラスチックの処理体制図】



第4 指定野菜の出荷に関する事項

令和元年度の冬にんじんの出荷量は、1,213tで、その全量が生食用として近畿・中国市場に出荷されている。主な出荷期間は、11月から2月までであり、11月の出荷始めの出荷量の増量を目指している。

共販体制も整っており、今後も部会の強化による共販体制の推進を行う。

1. 流通先別出荷数量

(単位:トン)

市町村名	流通先 年次	生食用		加工用		合計	主な出荷先名
		卸売市場向け	卸売市場以外向け	卸売市場向け	卸売市場以外向け		
米子市	5年前(平成26年)	1,508	42			1,550	近畿・中国
	現在(令和元年)	1,106	64			1,170	〃
	目標(令和6年)	980	20			1,000	〃
境港市	5年前(平成26年)	9	40			49	近畿・中国
	現在(令和元年)	0	43			43	〃
	目標(令和6年)	0	0			0	〃
計	5年前(平成26年)	1,517	82			1,599	
	現在(令和元年)	1,106	107			1,213	
	目標(令和6年)	980	20			1,000	

2. 出荷機関別出荷数量

(単位:トン)

市町村名	項目 年次	農協連合会	農協	任意組合	商協	商人	大規模生産者 ()	その他	計
米子市	5年前(平成26年)	1,508					()	42	1,550
	現在(令和元年)	1,106					()	64	1,170
	目標(令和6年)	980					()	20	1,000
境港市	5年前(平成26年)	9					()	40	49
	現在(令和元年)	0					()	43	43
	目標(令和6年)	0					()	0	0
計	5年前(平成26年)	1,517	0	0	0	0	0	82	1,599
	現在(令和元年)	1,106	0	0	0	0	0	107	1,213
	目標(令和6年)	980	0	0	0	0	0	20	1,000

(注)1 出荷数量とは、野菜指定産地の区域内で生産され、その区域から販売するために市場等へ出された当該指定野菜の数量をいう。以下同じ。

2 大規模生産者の欄には共販に含まれない出荷数量を記入するとともに、同欄の()に、共販に含まれる出荷数量を外数として記入すること。

3. 出荷規格

出荷規格は、全国農業協同組合連合会鳥取県本部が作成した規格を使用している。今後必要に応じて規格の変更、簡素化を検討していく。

◎ 洋 人 参 (H 2 6 . 7 . 1)

項目 等階級	1本重量	長さ	品 位 基 準	調 整	包装・量目	
秀	3 L	300g以上	15cm以上	秀品 (1)品種固有の形状、色沢を有するもの。 (2)岐根及び裂根のないもの。 (3)肌荒れ減少のないもの。 (4)けい部の緑化がないもの。 (5)腐敗・変質してないもの。 (6)病虫害、傷害、凍害のないもの。	(1)細根をきれいに除去する。 (2)土・砂などの異物をきれいに除去する。 (3)水切りを十分に行う。 (4)葉柄は1cm以内に除去する。	ダンボール 10 kg 5 kg 入目 5 %
	2 L	230 "				
	L	170 "				
	M	130 "				
優	S	100 "	10~15cm	優品 秀品に準ずるもので肌荒れ減少、けい部の緑化が著しくないもの。	コンテナ 10 kg 入目 5 %	
	2 S	60 "				
良			良品 (1)優品に次ぐもので、形状、色沢が秀品よりやや劣るもの。 (2)けい部が緑化しているもの。			

第5 指定野菜の近代化に関する事業計画

今後は、作業に時間を要する播種、収穫作業について機械化を進め省力化を推進する。

1. 現 状

導入事業名	市町村名	事業実施主体名	受益範囲		事業の内容	工種又は施設区分	構造・規格能力等	事業量	導入年度	備考
			戸数	面積又は処理量						
農業生産総合対策条件整備事業	境港市	鳥取西部農業協同組合	戸 6	ha(t) 4	にんじん収穫機	にんじん収穫機	1台	平成14年		
チャレンジプラン	米子市	鳥取西部農業協同組合	30	25	カメラ式自動選別機		3台	平成23年		

- (注)
- 1 現在、指定野菜の生産出荷等に関係している施設等で、補助、融資事業により導入したものについて記入する。
 - 2 受益範囲の欄については、区域の当該指定野菜の受益戸数及び受益面積(集出荷貯蔵施設については処理量)を記入する。
 なお、指定野菜がばれいしょの場合は、でん粉原料用ばれいしょも含めたばれいしょの総計を括弧書きで上段に記入する(以下同じ)。
 - 3 導入事業名の欄には、これら施設等を導入した補助、融資等の事業名を記入する。

2. 計画

助成区分	市町村名	事業実施主体名 (見込)	受益範囲		事業の内容	工種 又は施設区分	事業量	導入年度 (見込)	備考
			戸数	面積は 又は処理量					
補助事業			戸	ha(t)					
農業改良資金									
融資事業等									

(注) 当該指定野菜の生産出荷等の近代化のために、本計画の目標年次まで実施される予定の補助、融資事業について記入する。